

平成 30 年度事業活動計画書

常任委員会名	高等教育行政対策委員会	分掌者	
活動計画	<p>1. 文部科学省、厚生労働省等の看護関連の検討会、日本看護協会等関連団体の方向や社会情勢の動きを迅速に把握、日本看護系大学協議会としての見解や方向性を議論し、必要時に適宜、声明や提言を公表する。また、会員校に対しては各大学での議論に資するような情報提供等を積極的に行う。</p> <p>2. Academic Administrationに関する活動</p> <p>1) 研修会やグループ討議を通して、看護系大学の教員間で Academic Administration に関する理解を深め、概念を共有し、大学の管理運営に関する意識を高める。</p> <p>2) 現在、大学あるいはマネジメント担当者が抱える課題を明らかにし、Academic Administration の観点からそれらの課題への対応や戦略を検討する。</p> <p>3) 会員に対する大学の経営、運営管理、組織、戦略の立て方等について実践的な管理研修を実施する。</p> <p>3. 専門職大学に関する情報収集と情報発信（ホームページ上のバナー内容の充実） H31 年度開設（予定）の専門職大学の会員校としての受け入れ準備を進める。</p>		

常任委員会名	看護学教育質向上委員会	分掌者	
活動計画	<p>アンケート調査</p> <p>1) 目的 各大学におけるカリキュラムの質保証と発展を促すために、JANPU：看護学士課程教育におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標、の普及・活用状況と、支援ニーズを把握し、今後の研修計画を検討する。</p> <p>2) 時期 2018 年 6 月から 7 月頃</p> <p>3) 対象 日本看護系大学協議会会員校</p> <p>4) 調査方法 記名式自記式質問紙調査</p> <p>5) 調査内容 (1) 大学の属性 (2) 現行のカリキュラム (3) 参照基準の周知・活用方法について 等</p>		

常任委員会名	看護学教育評価検討委員会	分掌者	
活動計画	<p>前年度に作成した「看護学士課程教育におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標」の普及と活用方法について検討し、普及に向けた活動を計画（実施）する。看護学教育質向上委員会が 6 月の総会後に実施予定のアンケートを参考にしながら実施する。</p>		

常任委員会名	高度実践看護師教育課程認定委員会	分掌者	
活動計画	<p>高度実践看護師教育課程の認定を推進し、専門看護師の増加と質の向上に寄与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高度実践看護師教育課程の新規認定の実施：会員校からの申請に基づき、専門分科会（専門看護師14分科会、ナースプラクティショナー1分科会）を組織し、教育課程の認定を行う。 2. 高度実践看護師教育課程の認定更新（10年目）の実施：認定後10年を経過した会員校からの申請に基づき、更新認定審査会を組織し、教育課程の更新認定を行う。 3. 高度実践看護師教育課程認定に関する情報発信および相談業務の充実：専門看護師26単位申請（更新申請）、ならびに専門看護師38単位申請、ナースプラクティショナー46単位申請について、会員校からの質問や問い合わせに応じ、認定申請の支援を行う。 4. 平成31年度版審査要項の作成：平成31年度版を作成し、会員校へ審査要項を配布する。また審査要項（申請の様式を含む）は、本協議会ホームページにも掲載する。 5. 審査規準等の検討：必要に応じ、教育課程に関する審査規準等の検討を行う。 6. 高度実践看護師教育課程の分野特定：新たな分野特定が申請された場合には、規準に基づき審議を行う。 		

常任委員会名	広報・出版委員会	分掌者	
活動計画	<p>看護に関する情報を会員校ならびに社会に向けて広報することで、看護学教育の発展を支えることを目的とし下記の活動を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HPのリニューアル（会員校メニューの整理） 2. 高校生への情報発信の改善（「大学で看護を学ぼう」リーフレットの改訂等） 3. DOJの登録数を増やす取り組み 4. HPの英文化（日本看護学教育認証評価機構の英文化、更新のタイミングの検討） 		

常任委員会名	国際交流推進委員会	分掌者	
活動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護系大学の国際交流推進を目的とした研修会を開催する（1回/年）。 2. 第22回EAFONS開催に向けて、開催大学への協力や他国のExecutive Committee Membersとの連絡調整を行う。 3. 第22回The East Asia Forum of Nursing Scholar (EAFONS)のExecutive Committee Meetingに参加する。 4. 第22回EAFONSとの連携と日本からの参加者への広報と発表支援を行う。 		

常任委員会名	データベース委員会	分掌者	
活動計画	<p>平成30年度には私立看護系大学協会（以下、私立）との共同実施事業として、両組織の加入校（短期大学を除く）を対象に、「2017年度 看護系大学に関する調査」を企画・実施し、さらなる回収率の向上をめざす。共同事業とすることで、私立で収集していた運営費などに関する情報が追加項目となる。また、信頼性の高いデータが得られるように調査内容の充実を図るとともに、他機関では得られない部分についての検討を踏まえつつ、会員校の参考資料とあるようなデータベースの構築に向けて検討する。</p> <p>共同実施する初めての年となるため、会議回数を1回増やして予算化している。</p>		

常任委員会名	災害支援対策委員会	分掌者	
活動計画	1. 日本看護系大学協議会の地域ブロックにおける会員校の連携状況の把握 2. 日本看護系大学協議会の地域ブロックの連携体制づくり（組織・役割・相互支援体制等）の検討 3. 日本看護系大学協議会と地域ブロックとの連携の明確化 4. 会員校に「防災マニュアル指針 2017」の冊子の配布と活用の促進 5. 災害発災時の被災した会員校への対応		

臨時委員会名	APN グランドデザイン委員会	分掌者	
活動計画	1. APN 制度について包括的なグランドデザインを提示する。 1) 高度実践看護師教育課程実態調査の実施 日本看護系大学協議会会員校のうち大学院修士課程・博士前期課程において高度実践看護師教育課程認定を受けている大学に対して、教育内容、修了後のフォローアップ内容などの実態を把握し、今後の高度実践看護師教育のあり方について検討する。 2) 高度実践看護師制度構築に係る関係団体との協議 3) 高度実践看護師教育課程の専門分野のあり方に関する検討 2. JANPU ナースプラクティショナー資格認定制度の構築と実施体制の検討		

臨時委員会名	(法人外) 日本看護学教育評価機構 (仮) 設立準備委員会	分掌者	
活動計画	2017 年度日本看護系大学協議会総会において設立を決定した日本看護学教育評価機構（仮）の発足に向けた準備を行うことが、本委員会設置の趣旨である。本年度の機構の発足を目指しており、発足までの期間、本委員会を昨年度に引き続き設置する。		